

越冬闘争(12月)の報告

《決算報告 第3回越冬対策実行委員会医療班》

収入	12/9 市大「さよならCP」上映集合費	2027
	12/23 関西地区版車両カンパ	5000
	12/30 個人カンパ	5000
	1/2 救世軍行交通費還元収入(大阪市)	2500
	収入小計	14527
支出	12/21~27 やけど素マロンジンタム体温計	1460
	12/26~1/4 交通費(救急2500、但馬宿2800)	9580
	12/31 追跡調査用ハガキ 150枚	1500
	XX 見舞(5点セット) 他諸費	3720
	支出小計	16260

差高 -1733 (赤字今は医療を考える会と合併 1/4精算)

《記録》

今、おれたちの手元には、記録はほとんどない。空氣相談室付属を紛失したから。残った記録は以下に。

・医療センター行(付与者一岩田、江口、トヨ、他)

1/1 34名, 1/2 61名, 1/3 39+2名

・救急車つきとい監視体制

必ず1ないし2名がつきとい5人セットといハガキを入院者に手渡した。不正確で御めにては1/30の大和中央での例のように大家外に抗議行動をおこした。数字的のことよくない。

(12/30行動)

ハトロール中の仲間でやられているおじいちゃんを見したのが午後3時頃、頭どうぞいたのですぐ救急車を呼んで、大和中央病院へ運んだ。ところが医者は、一応の担当はしたものか、へやはあいてないことを理由に収容を拒否。仲間が追求すると「自分で病院とかして廻していく」とか「あんたらで背負、ていけ」とか暗に入院の必要を認めながらも拒否するという緊張に出た。殺られてたまるか! 頭に来た仲間はさ、そくテントあなたへ行つてある20名がすぐに集まつた。「あいてる部屋がない」と言つれたので調べると、あるのだ。呪いつめるとあれは緊急の時のために、(1)と中止票がおかした。抗議におそれをなして、再び「み」たが、血圧195医師有時も195レントゲンで大体大丈夫とはい、わからないというのが実際。救急病院とは名ばかり、息を切らして

金が全然なければ受けつけない! 一人だと弱く代わりにされるがこれ以上殺されまいために、仲間同士力をあわせて自らの生命を守らねばならない。抗議はじめこそすぐ、吐はれたホリ(制尿服)が20名以上入つてました。(有様していた者も含めるとそれ以上) 血便は痰が流いたが、本人は、その直しかいに意識がはっきりしてきて、もう帰ろうという事になつた。

・医療相談 教不詳。立憲行為とじては、朝、立憲へさすりむいた・切いた・等の行為が多かった。セニター行は所述。更生相の問題は〈行政〉の方から担当があるだろ。

(モチ事件 1/1)

元日に、仲間2人、テント村内で亡くなつた。1人はモチとのどにつまらせ窒息死、もう1人は、まだわかっていないが床脚的にモチが原因につながるとも考えられる。先の方の例へ近くていた仲間がすぐさま車でたたいてり、水を飲ませたりしたがうまくいかなかつた。そのあと支援部隊の医師がやつたがダメ、「あれは抱ねあつたし、これからもある」という意見。彼らの死を生かそうとしている。反対に、モチを小さくするなり、前酒者や老人に塗薬するなり、1つ1つ些細すべし。これは技術ではなく、毎日の中の質の問題だ。いいかえれば、最弱者を除き、てこ3者、123者をもつておくる人直角体(田舎)をもつておくる事か、おちられる。

「モチ一歩アメよう」といふ言ひ方(?)。一歩するに、仲間を死から救うためには1人の強者ではなく、困窮した多くの仲間の方に頼ること。

★ ここで、もう一度、何をやろうとしたのかをふりかえり、うまくいったのかどうかを考え直そう。

越冬実習班 → 医療相談←医療を考える会が重宝的
治療行為→外部の人につか、2もうち
医療を考える会が治療行為に重点をおかない理由はの
中途半端ではあるとまで責任のもとぬ(去年も中途半端
③仲間を批判するのもまつものも仲間だけ)。以上か
ら1/3健康奉公、1/6東京病院4強集会をへて、救急
監視等の眞跡と医療相談的とに重点をおいた。四へ

しかし、隣はいつも、何かいつも ガリガリ
音がした。掏出はお針のものよりも、東洋音楽バー
トヒの不一致をもつままでしておらぬ問題だ。(CRM
者、例へている者になして、ハト一匹者、寧) テニ
モ、医療相談用と差議用にわけてべきだ。((3以
降はどうした)

《「夜、一つめくさりがあわへた。まだまだ朝は近く
れりたけれども》〈外から理不尽も含めいじるまことに感想
文(反省)を書き進みよう留請を全員にしたのが…〉

④金竹崎の冬 越冬感想 1/8 支援? や
あ、おまえはおこをして来たんだと…吹き聚る風が
私に立つ 一中集中地

23年前、私は何も知らずに何と平和に暮して生きた
のだろう。私には帰るべき家がいつもあり、暖を取り
ながら本を読みふけり… 墓なし飛行して生、され
ども、今冬の虚空を知、こしま、た以上 僕はもう帰
てゆく地點をすぐねばならない とあまり早い死ける
しかない。かつての運動の向と身勝手な自己膨胀の
ために生きくりひろげられて生じたのか 越冬に生じ
たは何か? 共通する言葉も行動もじつ有なかつた。眞
坦・下層社会と呼ばれる社会を援助して代理せざして
階級・帝國主義等という言葉をひきすて、言語による革
命運動論しかはげずに歩んで生じた。そして、今自
ら下層社会と呼ばれる地域に、身を投じてわれたけれども
、今はあまりのアントラジが、重なる空で終ってしまった
といえないだろうか。越冬の位置づけが未確認のま
ま 支援学生、労働者を~~を~~重々の肩にねぐかな会話
しかね工はすき去、こしまった情況を我々はどう対
応せらるのだろうか。日夜寒帶的な運動のみにあけくれ
動いた人間のまとまり及び協調性 共同がほしえられず
に終つたと思う。それは内部下層者を、どこか座つた
という意識が幼きのけもの的存在にするような形がなか
つただろうか? 私も最初支援と呼ばれる1人であつた
わけで、その時私は何をすべきかと、とまどいをおぼえ
たわけである。内部と外部では意識層がかなり違つれ
てたけれどもどうい、内問題を、やはり内問題として言葉
をかわしてヨリ、こいくししないと考えるわけですが
とも。何というか私の場合は、医療とバイトで日夜あ
げく、どんな時と気力もなく すき去つてしまつた事

は多く接觸してゐられます。首筋にきてやがり頭
髪表裏細々しま、おれは後見沿岸到着いよいよ
ようなものがあつて、醒めても一やがり運動といつ
ものは持続せねばならないという地獄とも、そして
やがり 痛苦、困惑と叫べるような人間関係を早く作り
そして筆の内部問題を1ヶ月度にまくすしていこう。

⑤(帰つて来た道跡用いがちから)

- ・私は、貴男方に、テニト、テ「ねかし」をもたらす。ば
ん29日ひ夕方、頭に、けかとして、おぞたに大変
お世話をになりました。ありがとうございます。
- ・私も一生懸命寝巻に努めます。食工しもひうか、か
ン東、ZFせい。元旦の朝日新聞や3面「金竹崎」
(人間の虚実)、と云うのを読み廻る所がありました。
- ・回数の数がすくない。下着がほしい。

あとがき=あせつてカリティニアし、王丸がい字をコメ
ニ。いろんな意見、批判を教えZFせい。云つてもらつ
てもいいし、本文、裏文(?)、書き送、でも、ともよ
い、あ、ガリキラーたるボクの危機を誓う志れた!

⑥ ついでにこの上での出来のことです。木の吉原を尋ねて
甘かったと思う。はじめの方ではテント村内を飲んでいた。(これは直い出されたが) 遇合ではなく「散歩と店
合」という正面の質を!とか、「1回目はやさしく2回目
はひつこうに3回目は辛びしく!とか、言葉でいえて、
たいいんむずかしい。越冬に限らず、「運」のことを解
決しないとどうしようもないと思いました。以下略

1/11 文書トラ